

第1分科会

演題：『災害時、親に必要な心の備えとは』～ 地域とのつながりが力に～

講師：歌うママ防災士 柳原 志保 氏

- ・ 防災に備えるというと、防災グッズも結構高いものもあり、なかなかちゃんとはそろえられないと思っていましたが、日常生活の中で用意することやあるもので工夫するなど、役に立つアイデアをたくさん教えていただいたので、早速、家でも活用させていただきます。
- ・ 主婦目線の防災術はとても役に立ちました。是非、今日から取り組みたい、取り組みやすい内容で講演を聴いていて、とても親しみを感じました。
- ・ 今日の講話を聞いて、私も備えや習慣についてももう一度考え、行動したいです。知恵をしぼることも忘れずに頑張ります。
- ・ 人として生活していく力を親子共々に身につけたいですね。生活を見直すことと、自分ができるであろう努力も必要なんだろうと強く感じました。具体的な次へのヒントとなりました。
- ・ 小さな役割で助け合い、自立へ。子どもが自分で自分を守る力を身につけられるよう、育てていきたいと思えます。
- ・ 校区で防災委員会を立ち上げることになりました。今日の講演も「我が校区ではどうだろうか。」の視点でずっと聞いていました。とても勉強になりました。
- ・ 今回の地震があったのでこの分科会を選びましたが、災害前にこのような話を聞いてればと思いました。これから、自分でできる備えをしていこうと思いました。
- ・ 日常生活の延長で、家にある物でいろいろ工夫して防災グッズが作れるということを知り、役に立ちました。パーソナルカードは作っておこうと思いました。
- ・ 結論ではなく、子どもが自分で考えて行動できる力をつけてやるという話を実践してみようと思いました。災害が起こった時のことを子どもたちと話し合っておこうと思った。三つの力を大事にしたいです。
- ・ あらためて震災当時を思い出しました。自分の中では風化しつつあるのが正直なところですが。最悪の事態に対し、最善の準備必要ですね。まず、手回しラジオを購入しよう。
- ・ 場が元気になる写真や好きな食べ物、本当に納得させられました。パーソナルカードは家族分用意すべきだと思います。すぐに作っておこうと思いました。子どもにも自分でできることを身につけさせようと思います。
- ・ パーソナルカードや日頃の備えの大事さ、改めて学びました。早速準備したいと思います。身近なことを一つずつ、日常生活上で余裕を持って、いつでも対応できるようにしたいです。忘れてはいけない防災対策、意識が薄れた中での講演でした。再確認できました。